

ワンセグ活用型に対するニーズ

ホワイトスペース活用のうち、エリアワンセグなどを活用したアプリケーションに対するニーズが高く、利用サービスは、以下のように分類できる。

- 地方公共団体等による観光産業の振興
 - スポーツ競技場やイベントにおけるサービス展開
 - 商店街等による魅力あるスポットづくり
 - 交通機関における情報発信
 - 大学によるカレッジワンセグ放送局
 - 非常時における災害情報の配信
- 等

- 【共通点】**
- ・ カバーエリアは、特定の施設内での利用から市町村規模における発信、と一定のエリア内での活用の要望が多い。
 - ・ 運用主体は、必ずしも電波分野に精通しているとは限らない。
 - ・ 気軽に使いたいという要望が多い。
 - ・ イベント等で臨時的に行いたいという要望が多い。
 - ・ イベント情報、観光情報、地域交通情報など、地域的な情報を配信したいという要望が多い。

展開の促進に向けた課題

- 各地域において利用可能なチャンネルが異なることを踏まえたルールづくりが必要ではないか。
- 多種多様な分野から簡単に参入することが可能な制度づくりが望まれるのではないか。
- 今般の震災等を踏まえ、災害など非常時に伝達手段を多様化する通信・放送連携の実現が必要なのではないか。
(例) エリアワンセグなどを活用した放送サービスや緊急速報メールなどを活用した同報サービスなど身近なメディアを重層的に構築する 等
- 既存事業者など関係事業者間における運用調整を円滑にできないか。
- サービス利用者にとって利用しやすい形態とすることができないか。
- ホワイトスペース活用の周知広報を引き続き行い、ホワイトスペースを活用したサービス・利用者の裾野を広げることが必要ではないか。